



大事な腸のお話

～年々増加している潰瘍性大腸炎について～

『潰瘍性大腸炎』は、一度は耳にしたことがある病気ではないでしょうか。どんな病気か知らない方も、病名から大腸に潰瘍ができる病気なのかなとぼんやりとイメージができると思います。

大腸には、大腸がんや虫垂炎、ポリープなど様々な種類の病気がありますが、潰瘍性大腸炎は大腸に炎症が起きる『炎症性腸疾患』の一つで、大腸の粘膜に炎症が起きることによって、大腸の粘膜がただれたり、潰瘍ができる原因不明の難病です。

今回は、『潰瘍性大腸炎』についてご紹介します。



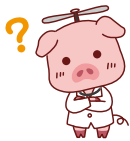
潰瘍性大腸炎には
どんな症状が
あるの？



どのくらいの患者数がいるの？ どの年代で多いの？

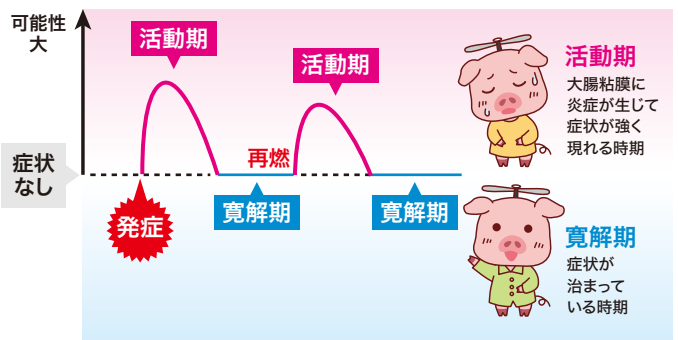


日本の潰瘍性大腸炎の患者数（特定疾患医療受給者証保持者）は、128,734人（2017年度）で、潰瘍性大腸炎と診断される方は年々増加してきています。発症年齢のピークは40～49歳ですが、若年者から高齢者まで幅広い年代で発症します。年々増加している理由としては、内視鏡による診断法の向上、病気の認知度の向上、生活習慣の西洋化などの要因が言われています。

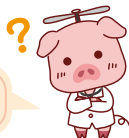


難病と言うととても怖いイメージがありますが、治療しても治らないの？

多くの患者さんが症状の改善や寛解（症状が治まっている状態）を維持することができますが、再発する場合もあり、症状が強くなる活動期と寛解期を繰り返してしまうことがあります。そのため、治療をきちんと続けていくことが重要になります。また、症状がなくても、発症して長期間経過すると大腸がんのリスクが高くなるといわれていますので、定期的な大腸内視鏡検査を受けることも大切です。



どのような治療をするの？



潰瘍性大腸炎を完治するお薬はありませんが、炎症を抑える薬による治療が行われます。治療の目的は異常な炎症を抑え、症状をコントロールすることです。重症の場合や薬による治療が効かない場合には、手術を行う場合もあります。

潰瘍性大腸炎は、病気を理解して治療をしっかりと継続し、またまわりの方が症状をきちんと理解してサポートすることが大切になります。気になる症状がある方は、早めにかかりつけ医に受診してください。

あなたのまちのお医者さん

まつう眼科医院

長崎市磯道町5-10 TEL:095-879-2100

緑色の看板が目印のまつう眼科医院は、磯道町バス停のすぐそばにあります。昭和59年3月に開院し、今年で開業35周年です。院長の松鶴先生は、大学病院等での勤務を経て、緑内障のような治療経過が長い疾患の患者さん一人ひとりを長期にわたり診ていきたいとの思いから開業されました。現在は、ご息女の大野先生と二人で、眼科疾患に広く対応しながら、松鶴院長は特に緑内障を、大野先生は特にぶどう膜炎（目の中の炎症を起こす病気の総称）をご専門に診療されています。手術や検査を要する場合は、早めに連携している病院に繋いでいるとのことで、眼科の頼れるかかりつけ医だと感じました。眼科疾患は、無治療の方も多く、自分でも気づいていない病気が隠れていることもあるそうですが、診療をする上で、患者さんが困っている問題をしっかりと把握し、その問題を解決するため患者さんのどんな些細な話でも聞き逃さないよう、コミュニケーションを大切にされているとのことでした。特に、「何かか飛んで見える（飛蚊症）」や「物が歪んで見える」などの症状は、比較的急を要する場合もあるため、患者さんの話から隠れた病気がないか気を配っているそうです。



▶先生オリジナルのポスター



松鶴先生は、読書や映画、温泉など様々な趣味をお持ちで、写真は特に好きのようで、カメラを腰にぶら下げ、日記代わりに様々なものを撮影されているそうです。撮影した写真を使った松鶴先生オリジナルのポスターは、目を引くデザインで、先生の患者さんに対する想いが伝わる心温まるポスターです。



院長 松鶴 嘉文 先生 医師 大野 梢 先生
診療科目 眼科 休診日 土曜・日曜・祝日・水曜午後

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	/
14:00~17:00	○	○	/	○	○	/

潰瘍性大腸炎に関する治験のお知らせ



潰瘍性大腸炎でお悩みの患者さんへ



- ✓ 6カ月間以上の潰瘍性大腸炎罹患歴を有する方
- ✓ お薬を飲んでいても、便に血液が少量でも混じっている方（便のふき取り時に血液が付着する方）

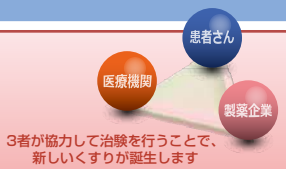
海外で販売されているお薬を試用してみませんか？

現在、当院では「軽症～中等症の活動期の潰瘍性大腸炎」に対する飲み薬の治験を行っております。

- 潰瘍性大腸炎の患者さんを対象とした、新しいステロイド剤の治験です
本治験薬は、潰瘍性大腸炎治療における経口剤として、欧米を含む海外40カ国以上で承認され、20カ国以上で販売されています。国内では、喘息、慢性閉塞性肺疾患、クローン病に対する治療薬として既に国内承認・販売されています。本治験では、軽症～中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者を対象として、本被験薬の有効性及び安全性を検討してまいります。
- 16歳～75歳の方まで参加可能です

治験とは？

新しい薬の候補が、病気に対して、「どのくらい効果があるか」、「安全であるか」を調べることを治験といいます。現在、全てのお薬は、治験のデータをもとに厚生労働省で承認され、販売されています。



ご興味のある方は下記までご連絡ください

長崎みなとメディカルセンター
研究開発センター
電話番号：095-822-3251
(受付時間 平日9:00～16:00)

みなとん探偵局



その疑問、
みなとんが
調査するトン!

Q. 入院中のお薬の疑問は、誰に相談できる？



みなさん、各病棟に病棟薬剤師がいることをご存知ですか？
病棟薬剤師は、患者さんに安心してお薬を使用していただけるよう、医師や看護師をはじめ他職種と連携して適切な薬物療法を実現するために次のような業務を行っています。
入院中にお薬のことで困ったら病棟薬剤師をお呼びください。きっとお力になれるはずです！

病棟薬剤師の役割を 紹介するトン



薬学的な患者ケア



入院前の常用薬の管理

原則全患者さんと面談し、入院前に使用されていたお薬（病院で処方されている薬や市販薬など）を把握し、入院中の治療薬との飲み合わせ等に問題がないか確認しています。また、副作用歴、アレルギーも確認しています。



服薬指導

処方されたお薬を安心して使用していただけるよう、使用する理由、使用方法、効果、副作用などを説明します。患者さんからの薬に関するご相談やご質問にも応じています。



フィジカルアセスメント

フィジカルアセスメントとは、患者さんを観察し対話しながら、触診や聴診などで患者さんの身体状態を把握することです。近年、新しい薬が開発される中で、薬の安全使用のために、薬剤師も直接患者さんと接して情報を得ていく必要性が出てきました。フィジカルアセスメントを行うことで、薬の効果の確認や副作用の兆候がないかを確認しています。

患者さん個々の薬学的管理

患者さんの疾患や症状、年齢、体格、検査値などを確認した上で、薬の投与量や飲み合わせに問題がないか確認しています。

薬剤師が薬物療法に積極的に関与し、医師とともにダブルチェックをすることで、より安全で効果的な薬物療法につながります。



退院後のお薬の説明

退院後の生活に合わせたお薬の使用（飲み方、服用時間等）ができるよう病棟で相談し、薬の説明をしています。



医薬品の管理



救急カートの管理

病棟には、緊急時に救急処置が迅速に行えるよう移動可能なカートに薬剤を保管しています。このカートに保管している医薬品の在庫や使用期限の管理を行っています。



病棟備蓄医薬品の管理

病棟に配備された医薬品の管理を行っています。

他職種への支援・連携



医薬品情報管理と教育

医薬品が適正に使用されるように、医師や他医療職に対して医薬品に関する使用上の注意を注意喚起するとともに、医薬品の安全使用に関する研修会を開催しています。



多職種カンファレンスへの参加

緩和ケアチーム、栄養サポートチームなどの多職種のチームに参加し、薬学の知識をチーム医療に活かしています。

病棟薬剤師の業務を知ると、患者さんの安心・安全な薬物療法のために、薬剤師が入院患者さんの身近な存在であることがわかったトン！入院中のお薬の疑問は、ぜひ病棟薬剤師にご相談ください。



診療科名	備考	月	火	水	木	金
呼吸器内科	新患	松尾 信子	吉岡寿麻子	原田 陽介		澤井 豊光
	再診	原田 陽介	松尾 信子	澤井 豊光		吉岡寿麻子
呼吸器外科			井上 啓爾	平原 正隆	井上 啓爾	
心臓血管内科	新患	武野 正義	末永 英隆 <small>不整脈</small>	古殿真之介	布廣 龍也	武野 正義
	再診	末永 英隆	武藤 成紀	武野 正義	鎌先 重輝	布廣 龍也
心臓血管カテーテル治療科	新患		竹下 聡	竹下 聡		
心臓血管外科			橋詰 浩二		橋詰 浩二	
			横瀬/田倉		横瀬/田倉	
消化器内科	新患	市川 辰樹	本田 徹郎	本吉 康英	宮崎 修	植原 亮平
	再診	山道/山島	市川 辰樹 <small>*紹介のみ</small>	市川 辰樹 <small>*紹介のみ</small>	植原 亮平	本吉 康英
消化器外科		谷口 堅	野田 和雅		本田 徹郎	
糖尿病・内分泌内科	新患	野崎 彩 <small>連携枠の新患 午後・FGM外来</small>		野崎/永延 <small>午後・専門外来</small>	野崎 彩 <small>連携枠の新患</small>	
	再診	中村 祐太 <small>院内のみ</small>	野崎 彩		中村 祐太	永延 佳子
血液内科	新患	一瀬 将広			對馬 秀樹	
	再診			對馬 秀樹	一瀬 将広	
脳神経内科	新・再		川原 祐郁 <small>新・要予約</small>		濱邊 順平 <small>新患のみ 新・要予約</small>	中岡賢治朗 <small>新・要予約</small>
	再診	六倉 和生	六倉 和生	濱邊 順平	六倉 和生	
脳神経外科		陶山 一彦		陶山 一彦		定方 英作
腎臓内科	新患	高木 博人		山下 裕		橋口/新患担当医
	再診	山下 裕		高木 博人	山下 裕	橋口麻夕子
心療内科・精神科		辻村 徹	辻村 徹	辻村 徹	辻村 徹	辻村 徹
緩和ケア外科		一瀬 浩郎		井上/一瀬		一瀬 浩郎
産科・婦人科	婦人科	小寺 宏平	増崎 雅子	福田 久信	小寺 宏平	濱口 大輔
	産科	濱口 大輔	福田 久信	野口 将司	増崎 雅子	野口 将司
乳腺・内分泌外科		増崎 雅子	野口 将司	小寺 宏平	濱口 大輔	福田 久信
		南 恵樹		南 恵樹		南 恵樹
小児科	外来①	坂本 綾子	山田 洸夢	中嶋 一寿	中山 裕介	中嶋 一寿
	外来②	高瀬 雄介	明石 周爾	中山 裕介	浦川 立貴	坂本 綾子
整形外科	新患	朝長 匡	貞松 毅大	朝長 匡	前田純一郎	江良 允
	再診	江良 允	前田純一郎	江良 允	朝長 匡	貞松 毅大
形成外科	新・再	高橋美保子	塚島 順子 <small>長崎大学医師 受付(13:30~15:00)</small>	今村 禎伸 <small>長崎大学医師</small>	中野 基 <small>新</small>	葉石 慎也
	再診	中野 基	葉石 慎也 <small>受付(8:30~9:30)</small>	中野 基 <small>眼瞼下垂症外来(9:00~) 乳房再建専門外来(10:00~)</small>	葉石 慎也 <small>受付(8:30~10:00)</small>	高橋美保子 <small>受付(8:30~10:00)</small>
小児外科	新・再				小坂太一郎 <small>要予約・ 第2木曜のみ 受付(13:00~15:30)</small>	
放射線科	胃腸透視		中武/坂本			
	超音波	福島/坂本		福島/坂本		福島/坂本
	C T	御手洗/中武	坂本/福島/御手洗	福島/御手洗	坂本/福島/御手洗	御手洗/中武
放射線治療	南 和徳	南 和徳	南 和徳	南 和徳	南 和徳	南 和徳
皮膚科	新患	東 江里夏	渡辺 千秋	東 江里夏	渡辺 千秋	
	再診	渡辺 千秋	東 江里夏	渡辺 千秋	東 江里夏	
泌尿器科	新患	竹原/上田 <small>(隔週)</small>	渡辺 淳一	渡辺/竹原/上田 <small>(10時まで急患のみ対応) ※急患以外は対応不可</small>	竹原 浩介	渡辺/上田 <small>(隔週)</small>
	再診	渡辺 淳一	竹原/上田		渡辺 淳一	竹原 浩介
眼科		山本/天野/永浜		山本/天野/永浜		山本/天野/永浜
耳鼻咽喉科	1 診	中尾 信裕	高橋 晴雄 <small>連携枠・要予約</small>	高橋 晴雄 <small>再診のみ</small>		中尾 信裕
	2 診	高野 篤	高野 篤	中尾 信裕		高野 篤
臨床腫瘍科	午後から	峯 孝志 <small>再</small>		峯 孝志 <small>新</small>	峯 孝志 <small>再</small>	

※第2・4土曜日は、マーメイド外来（女性専用外来）を完全予約制で行っています。

外来診療案内

- 診療時間 8:45~17:30
- 受付時間 8:30~11:00
- 休診日 日曜日、祝日、年末年始

※土曜日はマーメイド外来、透析治療のみとなります。
※救急又は、ご予約の患者さんは上記時間外でも対応させていただきます。

面会時間

- 一般病棟 平日/13:00~20:00
土日祝日/11:00~20:00
- N I C U 全日/13:00~20:00
- 集中治療病棟 全日/11:00~12:00
15:00~16:00
18:00~19:00
- 救急病棟 全日/15:00~16:00
18:00~19:00

発行・編集

企画総務課 広報企画係

お問い合わせ

企画総務課 広報企画係

095-822-3251
(代表)